

内航海運の安全対策の現状と課題

国土交通省 海事局 安全・環境政策課
平成21年4月27日

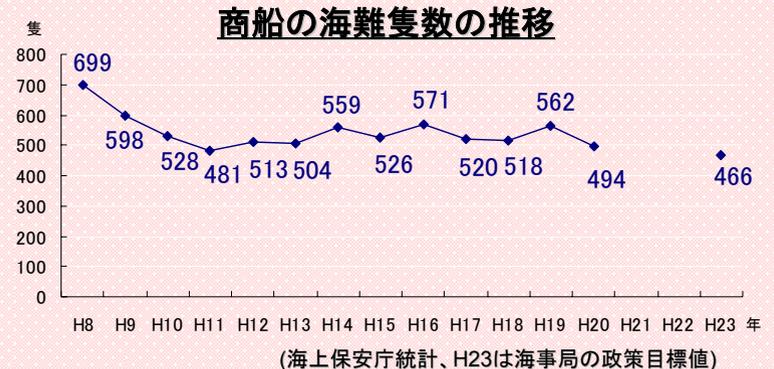
安全対策の現状

○内航海運事業者による安全確保の促進
運輸安全マネジメント制度、事故等発生時の特別監査の実施、任意ISM認証の取得の促進

○船員の育成・労働環境の改善
次世代内航船の導入による省力化、若年船員の育成・技能向上の促進、船員の労働環境の確保・改善

○船舶の安全性向上
船舶の安全基準の策定、船舶検査等の適切な実施

○新技術の開発・普及促進
安全性向上のための新技術の開発・普及促進、新技術の効用に応じた規制の見直し



今後の取り組みの方向性等

◆内航海運事業者による安全確保の促進

- 運輸安全マネジメント制度の定着、運航事業者への研修の実施

◆船員の育成・労働環境の改善

- 海運事業者への助成等による若年船員の育成・技量向上
- 船内労働環境の底上げのためのILO海事労働条約の早期批准
- 船内労働環境改善のための次世代内航船の普及促進策の推進



従来の取り組みに加え、事故分析に基づき有効な安全対策を特定し、重点的に当該対策を推進していくことが必要